

腹部超音波研修終了筆記試験 (iVEAT) 過去問題

1. ハーモニック法は小動物分野では重要な要素であり、購入した方が良い。  
あ。正  
い。誤
2. 超音波検査を行う際に常時変える必要があるコントロールを3つ挙げてください。  
あ。 \_\_\_\_\_  
い。 \_\_\_\_\_  
う。 \_\_\_\_\_
3. 超音波とは20000ヘルツ以上の周波数を持つ音波のことを言う。  
あ。正  
い。誤
4. 超音波の周波数が高いと解像力は悪い。  
あ。正  
い。誤
5. 超音波が伝わるには、必ず媒体が必要である。  
あ。正  
い。誤
6. インピーダンスは媒体の密度と音速に関係する。  
あ。正  
い。誤
7. エコーはインピーダンスの差がある2つの物質の界面から生じる。  
あ。正  
い。誤
8. 強いエコーはインピーダンスの差が小さい時に認められる。  
あ。正  
い。誤
9. 強いエコーが生まれると、その後、超音波の減衰は大きい。  
あ。正  
い。誤
10. 超音波プローブ内の振動子は送信と受信の両方を行う。  
あ。正

い。誤

11. 空気と水のインピーダンスの差は少ない。

あ。正

い。誤

12. サイドローブアーティファクトがどのようにして起こるかを説明してください。

---

---

---

13. エッジシャドーイングがよく見られる臓器を挙げてください。

あ。 \_\_\_\_\_

14. 多重エコーがよく見られる臓器を挙げてください。

あ。 \_\_\_\_\_

15. アーティファクトが検査中に臨床的な意義を持つ場合を説明してください。

---

---

16. 肝動脈は壁が厚いので、超音波検査で確認できる。

あ。正

い。誤

17. 肝静脈の壁は門脈に比較して、薄いので、超音波検査では壁構造が見えにくい。

あ。正

い。誤

18. 猫の総胆管が4mm以上になっていれば、閉塞症を疑う。

あ。正

い。誤

19. 肝臓がびまん性に低エコー性に見られる場合の、鑑別診断を3つ挙げてください。

あ。 \_\_\_\_\_

い。 \_\_\_\_\_

う。 \_\_\_\_\_

20. 肝臓内に高エコー性の 2cm の結節が確認できました。12 歳のオスイヌなので、最も疑われるのは、腫瘍です。

あ。正

い。誤

21. 肝臓を超音波検査するには、まず、横断面で見て、胆のうの異常を確認する。

あ。正

い。誤

22. 胆石と胆泥を超音波で見分けるポイントを簡単に説明してください。

---

---

---

23. ネコにおいて総胆管がよく見えますが、総胆管は門脈の腹側に位置する。

あ。正

い。誤

24. 子犬では総胆管がよく見えますが、なぜですか？

---

---

25. イヌでは正常な脾臓のエコー原性は正常な腎臓皮質よりも高い。

あ。正

い。誤

26. 脾動脈は正常ではカラーフローダプラ法を使わなくても、確認できる。

あ。正

い。誤

27. 脾臓のびまん性の腫瘍を 2 つ挙げてください。

あ。 \_\_\_\_\_

い。 \_\_\_\_\_

28. 脾臓の巣状病変において、腫瘍以外の鑑別診断名を一つ挙げてください。

あ。 \_\_\_\_\_

29. 脾臓の頭部は左腎臓の前側に認められることが多い。

あ。正

い。誤

30. 脾静脈は脾臓の片側（脾門部）から入るので、肝臓との鑑別がしやすい。

あ。正

い。誤

31. 腎臓髓質は正常では皮質よりも低エコー性に見える。

あ。正

い。誤

32. ネコの腎臓の辺縁はやや不規則に見える。

あ。正

い。誤

33. 腎盂の拡張を見る際に、最も確認しやすいエコー平面はどれですか。

あ。縦断面

い。横断面

う。背側面

34. 腎臓皮質が高エコー性に見える疾患名を1つ挙げてください。

あ。 \_\_\_\_\_

35. 腎臓血管のRI（抵抗指数）を見る際には、葉間動脈よりも弓動脈を用いた方が良い。

あ。正

い。誤

36. 腎盂が確実に拡張していると考えられるのは何 mm 以上ですか。

あ。 \_\_\_\_\_ mm

37. パワードプラは方向性を示し、感受性も高い。

あ。正

い。誤

38. 縦断面における猫の腎臓の長さは正常ではどの範囲ですか。

\_\_\_\_\_ mm から \_\_\_\_\_ mm

39. 正常な犬の副腎の幅は何 mm 以下ですか。

あ。 \_\_\_\_\_ mm

40. 猫の副腎は左右とも正常では楕円形である。

あ。正

い。誤

41. 猫の右副腎は後大静脈の背側で右側に見られる。

あ。正

い。誤

42. 副腎の中央を横切る血管の名前は何ですか。

あ。 \_\_\_\_\_

43. 犬の副腎腫瘍で悪性と思われる幅は何 mm 以上ですか。 \_\_\_\_\_ mm 以上

44. 副腎の皮質と髄質の境界は高周波数を使うと確認できる。

あ。正

い。誤

45. 後大静脈の中に入り込む副腎腫瘍は何ですか。

\_\_\_\_\_

46. 正常な膀胱壁の厚さは排尿直後を除いていくらですか。 \_\_\_\_\_ mm 以内

47. 膀胱炎と移行上皮癌は超音波検査では鑑別できないこともある。

あ。正

い。誤

48. 移行上皮癌がびまん性の膀胱壁の肥厚として起こることもある。

あ。正

い。誤

49. 背側面の膀胱壁は測定しやすいので、よく測定に用いられる。

あ。正

い。誤

50. 尿酸塩膀胱結石もシャドーイングを起こす。

あ。正

い。誤

51. 正常なリンパ節の幅は2から3 mmです。

あ。正

い。誤

52. リンパ節への転移を疑う場合、その幅はいくらですか。 \_\_\_\_\_ mm 以上

53. 腹部大動脈は3本の血管に分かれますが、分岐後の左右外側の血管名を書いてください。

\_\_\_\_\_

54. 膀胱破裂は超音波検査で確実に確認できる。

あ。正

い。誤

55. 血餅と腫瘍の鑑別は超音波検査でできる。

あ。正

い。誤

56. 尿管瘤は超音波で確認できますが、どこに見えますか。

\_\_\_\_\_

57. 正常な前立腺は均一な組織で、横断面では左右対称に見える。

あ。正

い。誤

58. 膀胱壁の粘膜面は正常でも不規則に見える。

あ。正

い。誤

59. 胃の幽門前庭部の蠕動運動回数は食後何回くらいですか。

あ。 \_\_\_\_\_

60. 胃腸では超音波検査上で5層構造が見えますが、低エコー性に見える層は何ですか。

あ。 \_\_\_\_\_

い。 \_\_\_\_\_

61. 犬の正常な結腸の厚さは何 mm 以下ですか。 \_\_\_\_\_ mm 以下

62. 十二指腸の壁は他の小腸よりも厚い。

あ。正

い。誤

63. 小腸癌の際に、5層構造が見えることは少ない。

あ。正

い。誤

64. 正常な小腸と結腸の超音波上での見え方の相違点を説明してください。

---

---

65. 猫の十二指腸は幽門部の前方に見られる。

あ。正

い。誤

66. 膵炎では、膵臓は周囲の脂肪に比べて、高エコー性に見える。

あ。正

い。誤

67. 猫では、幽門部を超音波検査で検出しやすい。

あ。正

い。誤

68. 正常でも、十二指腸の粘膜は胃の粘膜よりも厚い。

あ。正

い。誤

69. 膵臓の右葉は横断面よりも縦断面の方が描出しやすい。

あ。正

い。誤

70. 猫の膵臓は空腹時において見えるが、胃内容物が多い際には、見えにくい。

あ。正

い。誤

71. 膵癌と膵炎の鑑別は可能である。

あ。正

い。誤

ご苦勞様でした。結果は追ってお知らせします。

腹部超音波研修終了実技試験 (iVEAT) 過去問題

1. イヌの胆のう頸部を描出してください。
2. 横断面で、門脈と肝静脈が平行して走る部位を描出し、門脈を示してください。
3. シャント血管の出し方を教えてください。
4. 脾門部を描出してください。
5. 脾頭部を描出してください。
6. 腎臓の 3 平面を描出してください。
7. 左副腎の前端と後端の厚さを測定してください。
8. 膀胱壁の測定をしてください。
9. 腰下リンパ節の描出法を教えてください。
10. 右腎臓の 3 平面を描出してください。
11. 右副腎の後端の厚さを測定してください。
12. 膵臓の左葉と右葉の位置を教えてください。
13. 胃の幽門部を描出してください。
14. 下行十二指腸の横断面を描出してください。
15. その他。